

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一 長崎の石炭 七段
一 長崎の石炭 七段

一、いふまでもなく、
運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

運賃の元

一 春のあけ
中

たりのしるしをいふ

ちねけいふまうけり
中あて

一 三人のあけ
中あて

一 三人のあけ
中あて

一 三人のあけ
中あて

一 三人のあけ
中あて

一 三人のあけ
中あて

一 三人のあけ
中あて

一 三人のあけ
中あて

性高年少如日去中

一、方金、地、金、青、四、平、凡、
二、金、地、金、青、四、平、凡、

Handwritten signature: *James P. Smith*

一 上 市 成 老 但 未 入

正
 百六十六
 七十七
 八十八
 九十九
 一百
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

大坂繁華
二條河原町

一、交、可、乃、青、
西、移、槐、
二、原、君、之、人、
一、通、是、也、乃、出、也、
乃、以、弗、

高平寺

地
位
分
心
情
古
如
海
東
木
仲
男

一
古
法
四
時
流
入
其
要
久
矣

ましまし

ちねに月をふさぐ雲
仲夏

一夏の青
おれ
うきうき
運命はあつた

ちねに月をふさぐ雲

増えゆく雲の影
ゆき

一夏の光
おれ
うきうき
運命はあつた

ちねに月をふさぐ雲

増えゆく雲の影
ゆき

一夏の光
おれ

運命はあつた

ちねに月をふさぐ雲

ちねに月をふさぐ雲
仲夏

一夏の光
おれ

一石口

方板目知事

仲修

一石口

運賃

一石口

方板目知事

仲修

大徳寺

仲修

大徳寺

仲修

ていふこと
ていふこと
ていふこと
ていふこと

ていふこと
ていふこと
ていふこと

ていふこと
ていふこと
ていふこと
ていふこと

ていふこと
ていふこと
ていふこと

ていふこと
ていふこと
ていふこと
ていふこと

ていふこと
ていふこと
ていふこと

ていふこと
ていふこと
ていふこと
ていふこと

ていふこと
ていふこと
ていふこと

三上白 子規庵

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

明治二十年

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館
経済学部分館
武藤文庫所蔵

道徳書

山崎闇斎

（山崎闇斎）

石山

⑦ 山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

石山

山崎闇斎

（山崎闇斎）

山崎闇斎

山崎闇斎

山崎闇斎

（山崎闇斎）

山崎闇斎

山崎闇斎

一 上 目 下 乙

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 大 小 分 別 入

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一 通 貨 人 出 力 方 向

一

寅三月五書割

地本為平屋に馬見
仲多次郎

八柱五方出落五言五言
運賃此より下

一 文百座人 七柱
運賃此より下

運賃
武平合九言

ち夜川内より
仲多七

八柱五方出落三言
運賃此より下

ノ運賃より多し

昔れいふやうのし

九

持出物より多し

仲

八十五万

石

ノ運賃より多し

七

九

持出物より多し

仲

八十五万

石

ノ運賃より多し

九

九

持出物より多し

一、運賃の増徴をめぐり
いろいろの議論があるが、
これは、

たゞ、運賃の増徴が、
車内、車外、の両方から、
十月、十一月、十二月、

ちねん、
仲、

一、文、
運賃、

い、

一、文、
運賃、

一、文、
運賃、

運賃、

運賃、

運賃、

乃故内郡名也
中城

大坂子頭也
中城

一 中城
中城

一 中城
中城

一 中城
中城

一 中城
中城

一 中城

一 中城
中城

一

中城
中城

一 物部氏の山家
運賃

大坂河原町より自來
仲形ひなせ

二十五日迄分帳三言
運賃

いふちも

物部氏の山家
仲形

一 大坂河原町
運賃

運賃

いふちも

いふちも

大坂河原町より自來
仲形

二十五日迄分帳三言
運賃

いふちも

いんげん

坊主の事なまは
仲子

ふたふたの事なまは

坊主

いんげん

いんげん

坊主

いんげん

いんげん

いんげん

いんげん

おれは遠くから来た
仲良し

一斗五升の酒を
飲む

運賃九百円

いんちき

大坂の角屋
仲良し

一斗五升の酒を
飲む

運賃九百円

一斗五升の酒を
飲む

運賃九百円

いんちき

ちんちん

石月如

一 思作印證物 九 ありて 龍
う ありて 又

ノ 思作印證物 九 ありて 龍

ち ありて 九 ありて

卯 七 番 別

一 思作印證物 九 ありて 龍

仲 年 三 月

一 思作印證物 九 ありて 龍

仲 年 三 月

一 思作印證物 九 ありて 龍

仲 年 三 月

一 思作印證物 九 ありて 龍

仲 年 三 月

一 思作印證物 九 ありて 龍

三 ありて 九 ありて

ち ありて 九 ありて

ち ありて 九 ありて

運貨

三九

五
一

あふりし

方侯御金書之於此

仲推之

八百八十八
五

修石之山

送侯

口
口
口
口
口

卷之六

ちんぷん

臨江府志

八十
方生
之
氣
也

以飛百中

漢書卷之六

ちや
ちやちやちやちやちや

ちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

一 ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

ちや
ちやちやちやちやちや
ちやちやちや

大分県立大分南高等学校

增本全平齋藏神武冲
德意種原。有為之幸。

一八十五萬五千七百九十九

但塔成百子

運貨武吉音々々

一、定章為度畫三指為禪

但集云々人

通債利銀

乙卯のふりしと

一
拾
大黃
石
枳

但三條云又

運賃 廿七匁

運賃金

二五八

正字通

[illegible]

千板

卯之書判

一上白砂糖

拾七塊
但三合入

七十番別
一上白砂糖

拾七塊
但三合入

ノ首教合拾八塊

右文之通達一日拾玖日増

小年之通達一日拾玖日増

下年之通達一日拾玖日増

~~~~~

大坂に月寄書如書并に仲達  
後所下あるはわい事

一拾五天通

百塊  
但三合入

ノ通達書七合入

いあーうとあゝ

大坂に月寄書如書并に仲達  
後所下あるはわい事



一拾五圓 百拾  
但し一ヶ人

一運賃七ヶ人  
いふ一ヶ人

大坂新車に利家三郎は注ぎ  
積込ありては

一拾五圓 五拾  
但し一ヶ人

一運賃七ヶ人  
いふ一ヶ人

たりぬ

一拾五圓 五拾  
但し一ヶ人

一運賃七ヶ人  
いふ一ヶ人

合

いふ一ヶ人

いふ一ヶ人

増、あるは神道の中  
に

一、此の初級を修め  
て

運賃を  
かゝる

一、此の上級を修め  
て

運賃を  
かゝる

運賃

一、此の初級を修め  
て

増、あるは神道の中  
に

一、此の上級を修め  
て

運賃を  
かゝる

一、此の初級を修め  
て

運賃を  
かゝる

運賃

一、此の初級を修め  
て